

## 横浜線の編成番号と車両について (追記)

2007.6.3

2007.9.24

横浜線は8両で1つの編成運用されており、運転台には編成番号が表示されています。編成番号は、Hのアルファベット1文字と1～27までの数を使用しています。

例：H1 H2 H3 … H5 … H19 等



例：クハ 204-86

この編成番号は2号車に表示されている番号の下2桁が基本的に一致しています。また、1号車と8号車は編成番号+60となっています。

例：204-114 (2両目の車両番号下2桁)



H14 (編成番号)

例：204-85 (1号車と8号車)



H25 (85-60=25) 編成番号

ただし、1編成は山手線を流用して横浜線化したため、3桁の数字ではなく2桁の数字となっており、基本から外れています。(H27編成のみ)

また、もう1編成は京浜東北線を流用したため基本から外れています。(H26編成)

204-90 (2両目の車両番号) 山手線を流用したため



H27 (編成番号)

何気なく見ている運転台の数字も、ちゃんと決められたことがわかります。

運転台の編成番号を見逃した場合でも、2両目の車両番号を見れば編成番号が判断できるので安心です。

同様に先頭車と最後車についても、編成番号が判断できます。